

**原告には必ず
お届け下さい**

2018年03月22日 163号

生活保護制度を良くする会

ニュース

事務局 道生連
電話 011-736-1722
ファックス 011-736-1688
メー ル seihojokusurukai@herb.ocn.ne.jp

新・人間裁判の第14回口頭弁論での、堀田美千子さん(68才・札幌市西区)の陳述です。



私は、昭和25年1月15日、北海道の最北端の利尻島で、堀田克功とタカの二人兄妹の長女として生まれました。小さな雑貨商の平凡な家庭でした。普通の子供として高校を卒業し、簿記学校に入学。思春期に初恋の人との別れに苦しんで統合失調症になりました。3ヶ月の入院で退院後は、改めて札幌市にある洋裁学校に3年間通いました。その後働こうとしてもすぐクビにされてしまい、働くことができませんでした。

そのころ好きな人ができ、2年間の同棲生活をしながらそれでもロバパンでアルバイトを数か月することができましたが、私の状態が悪くなり、うまくいかず、別れることになってしまいました。

精神病が悪化し、病院のカギのかかる閉鎖病棟に私を残して、去って行きました。信じていただけに、足がふるえ、涙が枯れるまで泣き続けました。この時は1年間の入院生活の後に退院。利尻島に帰って父と母と3人で利尻で暮らして行こう、この地に根を下ろそうと思いつつ、暮らしているうちに、心身ともに健康そのものだった母が、私のことであまりにも苦しみ過ぎたせいか、アルツハイマーになってしまったのです。

利尻島の町会議員の紹介で北海道生活と健康を守る会連合会につながりました。

父は、一冬一人で商売をやり、頑張ってみたと、覚悟を決めたのか、親戚を頼って小樽へ出てきたのですが、その後、父の貯えもなくなってしまい、私と一緒に暮らすことになって白石区で生活保護を受けました。

生活保護を受けながら同じ病気を持つ「すみれ会」の仲間と出会い、精神障害者としての人生の本当の始まりでした。病状も落ち着き、活動をしながら勤医協札幌病院や新日本婦人の会札幌中央支部の掃除の仕事ができるようになっていました。

その後、どうしても生活と健康を守る会のお手伝いもしたいと思うようになり、当時あった社会適応訓練事業という制度を活用して生活と健康を守る会で1年6か月の訓練を行いました。私は自分の病気を忘れて楽しい仕事でした。

そのころアルツハイマーになった母は入院していたので、父との二人暮らしでしたが、父は、生活保護を受けていても、私に経済的苦労はさせず、病気と社会と人生のはざままで、苦しみもがく私を見守ってくれていました。そんな中、母の死に続き、父が脳梗塞で倒れ、10ヶ月の入院生活ののち亡くなりました。89才でした。

一人ぼっちになった私に「美ちゃん、事務所のそばに越しておいで」と言ってもらい、私は喜んで引っ越してきました。守る会の掃除などを手伝ってボランティア手当として1万円もらい、保護課に収入申告しながら働きました。



その後、精神障害者を支援する会でボランティアとしてルーム・マネージャーという仕事をさせてもらい、「守る会」と「支援する会」と共に歩み続けてきました。

私は今、68歳になります。平成25年から3年間かけて保護費が引き下げられましたが最初の年は1か月、700円程度でしたが、今は朝食に一番安い6枚切りの角食を1枚と牛乳1杯、季節のリンゴを1個を楽しんでいます。朝の果物は唯一の贅沢です。

また週1回ご飯を炊き、小分けにして冷凍し、休日にはレンジでチンをして、缶詰や納豆を食べています。平日は精神障害者を支援する会で昼と夜合わせて700円の食事で栄養をとれているので、火が怖くて食事が作れない私にとっては、ありがたいことです。

今は灯油代も節約するために、日中出かける時も夜寝る時もストーブを消しています。そのため、寝るときは、敷布団と敷布団の間にタオルケットを入れ、上はタオルケット2枚、毛布2枚、そして薄めの布団を2枚かけて寝ています。そうでなければ寒くて寝られないのです。また、お風呂は湯船にお湯を入れたことはありません。いつもシャワーで週

1回程度にしています。水道代も節約しなければ人とのほんの少しの楽しみもできないからです。

私は、小さいころから何の苦勞もなく育ち、生活保護を受けてからでも父は自分の物も買わずに私の生活に回してくれていたもので、本当の貧乏を知りませんでした。知らずに生きて来たのです。

でも今は、本当に苦しいと感じるほど生活保護での暮らしは大変です。

私も再来年には70歳になります。そうするとまた保護費が下がります。年を取っていくことでの不安と相まって生活していくことへの不安が重なり、沈んだ気持ちで毎日を暮らしています。

そう思うのは私だけではないと思っていますが、そんな日本の社会になってほしくないと思っています。社会保障を真に豊かにしてほしいと心から思っています。

人として生きることを奪おうとする今の政治の中で、人間の尊厳をもって最後まで生きていきたいと心から願っています。削減された生活保護費を元に戻して下さい。

